



# 7月新着図書案内



上旬版  
富山中部高校図書館



風土記の世界

三浦 佑之 著

風土記は古代を知る、何でもありの宝箱。風土記の成立や内容を概説的に整理し、ヤマトタケルを天皇として描く常陸国、独自の国意識の現れる出雲国など、新たな読みで古代世界の謎に迫る。



投票に行きたくなる国会の話

政野 淳子 著

政治参加、立法、予算、行政監視……。投票する権利を持った人に選ばれた国会議員が、政治（意見調整や合意形成）をする場である「国会」で果たす数々の役割について、できるだけ分かりやすく説明する。



「素晴らしきサイエンス」シリーズはほかに「生物学」「数学」「化学」があります。公式や法則、定義が身近な生活に役立っていることが分かりやすく書かれています。ぜひ読んでみてください。

素晴らしきサイエンス

ぼくらは「物理」のおかげで生きている  
横川 淳 著

静電気はどこから来るのか？ なぜエアコンで部屋が冷えるのか？ 蛍光灯はどうやって光を放っているのか？ 日常生活で体験できるさまざまな現象、あるいはハイテク機器などの中に隠れている「物理のメカニズム」を紹介する。



迷いながら、強くなる

羽生 善治 著

迷いやミスがあったからこそ、私はここまで来ることができた。史上5人目となる1200勝を最速・最年少で達成した将棋棋士・羽生善治が語る、恐れや不安を乗り越え、勝ち続けるための思考法。



大きくなる日

佐川 光晴 著

どこかにありそうな町の、どこかにいそうな家族。そんな一家のありふれた日常の中に、かけがえのない大切な瞬間が詰まっている。四人家族の横山家の歩みを中心に、人生の小さな転機の日を描く、九つの連作成長物語。

## 図書館からのお知らせ

7月13日から  
蔵書点検を  
行います。  
読み終えた本は  
速やかに  
返却してください。